



学校だより

9月号

令和4年8月31日

暑い夏。ふくらむ夢。

校長 青木 和裕

ヒョウタンの緑のカーテンが、南校舎2階ホールのベランダの手すりを乗り越えて広がっています。ヒマワリは、太陽に向かって、どこまでも真っ直ぐに伸びています。猛暑、豪雨のこの夏でしたが、花壇に咲く色とりどりの花を見ていると、心が癒されます。学校に咲くこの花々は、「はなさぼ」の皆さんに植えていただきました。7月の「みんなではなさぼ」の日、園芸家の新井さんから、抜いた雑草の根がからからだから、たつぷりと水をあげる必要があると、アドバイスを受けました。この夏休み、PTA本部の働きかけで、保護者の皆様と子どもたちが、毎日花の水やりをしてくださいました。朝一番で水やりをした後、大きくなったオクラを収穫して、私に見せてくれた男の子。そのきらきらした笑顔を見て、私もうれしくなりました。水やりだけではなく、うさぎのミクちゃんの世話もしていただきました。ニンジンを食べさせようとした男の子。「食べないな。おなかすいてないのかな。」「大丈夫。来たときは、野菜がなくなっていたから。そこに置いておけば、おなかすいたら食べるよ。」水を入れて凍らせたペットボトルをクーラー代わりに置いたり、毎日新鮮な野菜と水をあげたり。親子で会話をしながら、温かく世話をしていただき、ありがとうございました。おかげさまで、草花もミクちゃんも、この猛暑の夏を乗り切ることができました。



夏休みに入る直前の7月21日(木)、第3回学校運営協議会が行われました。昨年度に続いて、学校運営協議会の皆様と全教職員が、「こんな二つ橋小学校になったらいいな」というテーマで、夢を語り合いました。今年度は、さらに焦点を絞り、「自然園」「行事」「安全」を話し合いの大きな柱としました。



「自然園」については、現状でも教師の指導の下、生き物の観察をしたり、樹木のスケッチをしたりと、学習の場で活用しています。しかし、いかんせん手入れがされていないため、子どもたちが自由に遊んだり観察したりする場にはなっていません。子どもたちの思いを生かして、再生したい。しかし、根本的に整備するには、業者の力も必要、それには、お金がかかる……。お金がないからできないとあきらめるのではなく、学校運営協議会の皆様は、学校を支援する活動等の継続的・安定的な財源を確保するため、「学校ファンド」の設立を検討中です。詳細が決まりましたら、お知らせしますので、その節は、地域の皆様、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

「行事」については、コロナ禍の今すぐは無理にしろ、いつか落ち着いたら、こんなこと(季節のイベント、星空観察会、防災キャンプなど)をやりたいという、たくさんの夢が語られました。「安全」については、学援隊の皆様が、子どもたちの安全のために、地域の交通量が多いところに毎日立っていただき、本当に感謝の思いでいっぱいです。校内の環境整備について、たくさんの意見が出ました。和式トイレを洋式に、エレベーターの設置、屋内または屋根付きプールにできないか、体育館にクーラー設置を……。『学校運営協議会意見書』として、横浜市教育委員会に、精査した意見を述べたいと思います。その他、詳しくは、別紙「第3回 学校運営協議会だより」をご確認ください。

9月も、暑い日が続くそうです。熱中症に気を付けながら、運動会の練習を進めていきます。ご家庭でのお子様の健康観察、体調管理をよろしくごお願いいたします。